

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 東岡山工業 高等学校
実践場面	企業参加型のPBL（課題解決型学習） ～広告会社のスタッフになりきって企業の魅力を伝えるチラシ作りに挑戦～
実践日時（時期）	令和6年9月10日（火）4、5限
対象生徒（学年）	電気科 2年生 39名
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 学校独自のつながり（岡山県産業教育懇談会の参加がきっかけ） ）
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会・説明会 <input checked="" type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最先端の技術・設備の見学 <input checked="" type="checkbox"/> その他

実践の内容

【背景】

- ・工業高校ではプレゼンテーション能力等を育成する機会が少なく、令和5年度に開催された「岡山県産業教育懇談会（主催：岡山県産業教育振興会）」へ東岡山工業高校と（株）ビザビが参加したことをきっかけに連携が始まった。
- ・令和6年1月に（株）ビザビが講師となり、デザインツール「Canva」の講習会を実施した。

【実践内容】

- ・電気科2年生のPBL授業において、昨年度学習したCanvaを活用した実践的な課題として「企業の魅力を伝えるチラシ作り」に取り組むこととし、引き続き（株）ビザビに講師をお願いした。
- ・実践当日は県内の企業6社（光軽金属工業（株）、新保電機工業（株）、ユアサ工機（株）、備前化成（株）、（株）中央設備、（株）テルミックス）が来校し、生徒は広告会社のスタッフになりきり、それぞれの企業へインタビューし、企業から情報収集を行った。

※企業6社の参加調整は（株）ビザビ

- ・生徒は、初めに全体説明として（株）ビザビの講師からインタビューのポイントなどの説明と、各参加企業から会社紹介（1分程度で要点のみ）を受けた。
- ・全体説明の後、生徒はグループ毎に予め指定された企業のブースを訪れ、詳細な企業説明を企業担当者から聞いて、「1日の過ごし方は？」「仕事のやりがいとは？」など、自分たちで考えた質問を担当者へ投げかけた。（25分×2社）

※生徒は事前学習として、各グループで企業の調べ学習を行い、質問項目を考えている。

- ・今回インタビューした内容や調べた内容を基に、各グループで企業チラシを完成させ、12月の授業で発表を行い、企業が審査員として評価とフィードバックを行う。



実践による効果等

- ・「チラシ作り」という課題を設定することで、企業を学ぶ視点が明確となり、生徒は積極的に企業担当者へ質問を投げかけるなど、意欲的に活動に取り組んでいた。
- ・インタビュー後、教員からの「各企業を理解できたか」「その企業に興味を持ったか」の質問に8割以上の生徒が肯定的に答え、キャリア教育の点からも効果があったと言える。

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）